

海の安全レポート

第七管区海上保安本部
海の安全推進室
TEL093-331-6395(交通部安全対策課)

第180号 令和4年3月号



BACKNUMBER (二次元コードは右側をご利用ください。)

https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/gyoumu/kyunan/marine_anken_report/

まもなく ❀ 春 ❀ マリンレジャーシーズン到来！！
船を出港させる準備は万全ですか？？

全海難の4割を占めるプレジャーボート海難は春先から増加する傾向となっており、海難種別では機関故障による運航不能が多く、中でも燃料フィルターの目詰まりやキャブレター不調等が原因で機関故障を起こす事例が発生しています。これは冬場に長期間エンジンを動かさなかったのにもかかわらず事前点検や整備を怠っていたことが原因です。レジャーシーズンとなるゴールデンウィーク前にエンジンの燃料系統の点検を実施しましょう。また、自己点検や整備に不安がある方は使用前にマリーナや専門業者に点検整備の依頼を行うことが必要です。

船外機の燃料系統の点検例

船外機（15馬力）の点検例を紹介します。（詳しくはそれぞれのメーカーの取扱説明書等に従ってください。また、ガソリン等の引火しやすい燃料の取扱いには注意が必要です。

☑チェックポイント①（燃料タンク）

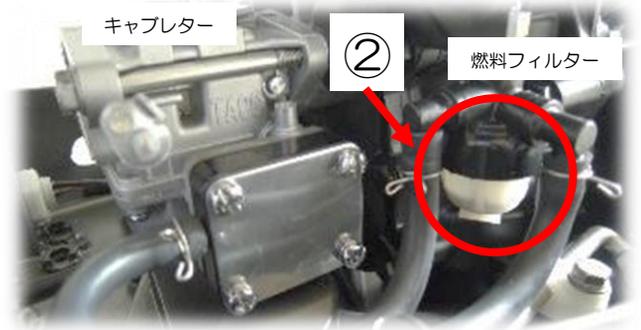
燃料タンク内の一次フィルターに異物が溜まっていると目詰まりを起こし、**燃料が供給できなくなるおそれ**があるため、定期的にフィルターを確認し、異物があれば取り除きましょう。また、燃料を入れたまま**長期保管している**と**燃料が劣化する**とともに、タンク底に異物が沈殿し、トラブルの原因となるため、保管前はタンク内を空の状態にしましょう。可能であれば燃料計の作動確認もしましょう。

フィルターを取り外した状態



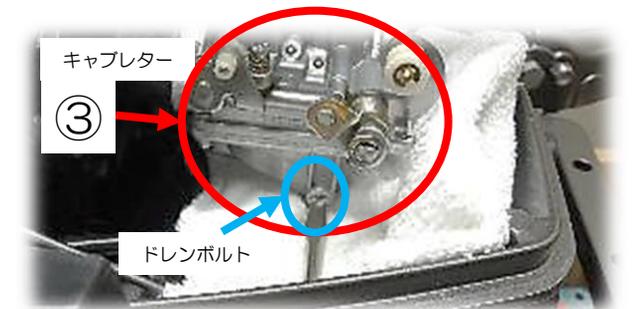
☑チェックポイント②（燃料フィルター）

キャブレター前の二次フィルターにゴミや水分等が溜まった状態のまま使用を続けると**燃焼不良等の悪影響を与えるおそれ**があります。右図のような白色カップがついている船外機は定期的にカップを取り外して内部のフィルターを確認しましょう。内部が劣化し、交換時期が過ぎている場合は新しいフィルターに交換しましょう。この船外機の場合、交換時期の目安は100時間となっています。



☑チェックポイント③（キャブレター）

キャブレター内の燃料が劣化していると、**エンジンの不調を起こすおそれ**があります。右図のようにキャブレター底のボルトを外し、シーズンオフや長期保管の前に燃料を抜いておきましょう。燃料の劣化による不調を防ぐことができます。



機関故障の要因や注意事項の詳しい情報については、右の「プレジャーボートの安全運航のために」をご覧ください！

https://www6.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/info/leaflet/201029_01_PB.pdf

